

海外LPガス情報の紹介

(No. 133 平成 18 年 5 月号)

財団法人 エルピーガス振興センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目19-5
虎ノ門一丁目森ビル

(電話: 03-3507-0041 Fax: 03-3507-0048)

E-mail: info@lpgc.or.jp

HP URL: <http://www.lpgc.or.jp>

(「海外LPガス情報の紹介」のバックナンバーも掲載)

① 《各市場のトピックス》

(1) アジア大洋州・中東・中央アジア地域

- ・インド: LPG 輸入は 2006 年第 2 四半期は第 1 四半期との比較で可成り減少しているが、これは国内産が 2005 年後半、急増したため余剰が発生している背景がある。2005 年第 4 四半期は祝祭時期の需要期に主要製油所定修が重なり、タイト化した。定修終了に伴う国内玉の生産増で、輸入必要量が減少した。これは一時的な現象でインドの輸入は夏季までには正常に回復する見込み。
- ・インドの民間石油精製・石化企業リライアンス社は、余剰の LPG の輸出を検討。3 月頃より月間 3-4 万トンを輸出したが、5-7 月は月間 5 万トン内外となる見込み。国内向けの引取が減少した為の余剰玉処分である。
- ・中国: 1-3 月の輸入統計によると、1 月の輸入量 327 千トン(全年同月比 ▲37%)、2 月は 419 千トン(▲28%)、3 月は 404 千トン(▲14.8%)。
- ・中東からの輸出は、約 50%がサウジアラビアのラスタヌラ、約 8%がヤンブー出し、アブダビが 20%、クウェート 8%、カタール 7%、イラン 7%となっている。4 月のヤンブー出しは北西欧約 40%、エジプト約 20%、インド向け 5%、その他は未定。5 月はスエズ以西向け約 20%、USA 向け 37%で未定が約 40%。ラスタヌラ出しの 4 月は日本向けが約 50%、中国向け約 28%、インド向け約

9%、エジプト向け約5%、USA向け約5%。5月は日本を含む極東向けが約50%、中国向け約7%、インド向け2%、USA向け7%、豪州向け3%、その他未定となっている。

(2) 欧州・アフリカ地域

- ・アルジェリア品は5-6月で10数カーゴがトランスアトランティックで米ガルフに向かうと見られる。4-5月の仕向地は通常通りの地中海向けが約30%、USA向けが30%内外、北西欧が10%内外、トルコ向けが10%内外、その他エジプト他となっているが6月に向けてUSA向けが増加傾向にある。
- ・赤道ギニア：LPGのターム契約の入札結果、欧米のトレーディング企業が落札。6ヶ月契約(7-12月)で売り手が更に6ヶ月の延長オプションを有し、数量は30万トンでP70%、B30%(ブタンには30%内外のイソブタン分を含む)

(3) 北米・中南米地域

《北米》

- ・石化向けのナフサがガソリンブレンド剤向けにシフトしたため、園不足分を埋めるためLPGの消費が増大。在庫も低いレベルとなり価格が上昇中。第2四半期の輸入の約半分がブタンで5-6月で輸入プロパンは直接石化プラントへ向かい、冬場の暖房用に向けた在庫積み増しには寄与しなかった。
- ・原油とLPGのスプレッド(価格のディファレンシャル)については、過去の統計からすると、プロパンは平均値として約77%であるが、最近では60%台の下の方となっており、時として短期的に60%を割り込むこともある。市場はプロパン価値が過小評価されていると見ており、プロパン価格は更に相対的に回復基調にあるとみている。
- ・ベースになる原油の動きについては、原油市場は「ヘッドライン・トレーダー(大きな出来事の報道記事によって売買ポジションを変動するトレーダー)」の手中に握られている、先行きのチャート傾向を占うのは困難で、従いLPG価格トレンドもしかりである。
- ・LPGの米国向け輸入：
2006年の5月段階までの数字を基礎に通年ベースを推計すると、米国のLPG輸入量は、5,600万バレルとなり、2005年の約88%に相当する。今年も2005年同様後半が同様のペースで推移すれば、記録的な輸入量を達成することになる。障害の除去(ディボトルネッキング)が2005年から可成り進展したため、米国での商業LPGターミナルを保有する民間企業であるTarga社やEnterprise社はインフラ及び国内向け出荷スピードを改良したため、全体的な輸入能力の大幅改善に繋がった。世界的に供給量が増加している事からすると、2005年の総輸入数量であった6,300万バレルを超える可能性も否定できないとの見方もある。

《中南米》

- ・アルゼンチン：極東と季節が逆である同国の余剰玉は1-2月に日本、中国に入着した。現状国内向けより輸出に振り向ければ約\$125/トン有利であり、大きなインセンティブとなっており、政府は4月末には一旦輸出抑制に動いたが、5月になり解除となった。
- ・ボリビア：昨年末の大統領選で左翼系の大統領選出に伴い、海外資本の所有する(持ち分)石油・ガス資産の国有化が2006年5月宣言された。主要なガス計画が停止状態となり、その中でも最も活発に計画に参画しているブラジル国営のペトロブラスが最大の被害を受けることになった。太平洋LNGコンソーシウム計画ではボリビアのガスをパイプラインで太平洋岸に輸送し液化した上でLNGを輸出する計画ではあったが、随伴のLPGの輸出可能性も棚上げ状態となる。

② LPGタンカーの運賃動向：2006年5月

【長期傭船費(12か月、冷凍船)(単位:千ドル/月)】

	3月末	4月末	5月末
75,000 - 78,000 m ³ 船(新型)	1,200	1,200	1,200
75,000 - 78,000 m ³ 船(旧型)	950	950	950
15,000 m ³ 船	775	675	650

【スポット運賃、\$/トン】(75,000-54,000 m³船型中心)

【注:()内の数字はノミナル・レート(理論値)】

	3月	4月	5月
アラビア湾 → 極東(中国<安値>~日本<高値>)	40-43	39-47	47-57
アラビア湾 → 地中海	(45-50)	(50-55)	(60-65)
アラビア湾 → 北西ヨーロッパ	(51)	(55)	(63)
アラビア湾 → 米国(ガルフ)	(79)	83	(91)
アラビア湾 → インド(西岸)(20-35,000m ³)	40-60	40-70	40-70
ヤンブー(サウジ) → 極東(日本)	49-50	49-53	55-61
ヤンブー(サウジ) → 地中海	40-45	45-50	54-60
ヤンブー(サウジ) → 北西ヨーロッパ	45-50	50-55	58-66
ヤンブー(サウジ) → ブラジル	(55)	(59)	(67)
ヤンブー(サウジ) → 米国(ガルフ)	65-75	70-79	80-87
アルジェリア → 北西ヨーロッパ	25-35	25-35	25-35
アルジェリア → 米国(ガルフ)	(42-45)	49-55	50-57
アルジェリア → メキシコ	45-48	50-55	50-55
アルジェリア → 極東(中国~日本)	(65-68)	(69-72)	(77-80)
北海 → 極東(中国~日本)	(85-90)	(89-94)	(97-102)
北海 → 米国(ガルフ)	(40-50)	50-55	50-55
北海 → 北西ヨーロッパ	18-25	20-30	20-30
ナイジェリア → 極東(中国~日本)	-	-	-
ナイジェリア → 米国(ガルフ)	47-52	50-55	50-55
米国(ガルフ) → 極東(パナマ経由)	(77)	(81)	(89)
オーストラリア(南東部) → 極東(中国~日本)	37-40	41-44	49-52
ベネズエラ → 米国(ガルフ・東部)	40	40	40-45

③ LPG価格動向

スエズ以東	2006年5月CP(\$/トン)	2006年6月CP(\$/トン)
プロパン:サウジアラムコCP	470	470
ブタン :サウジアラムコCP	470	470

欧州:プロパンスワップ先物市場価格(\$/トン、CFR 北西ヨーロッパ)

3月下旬時点: 5月:465-470, 6月:465-470

4月下旬時点: 6月:525-530, 7月:528-536

5月下旬時点: 7月:521-526, 8月:523-537

米州:モントベルビュー・スポット価格(セント/ガロン、カッコ内\$/mt 概数)

	3月後半	4月後半	5月後半
プロパン:	95(495)	103(537)	105(547)
ブタン:	115(520)	122(551)	121(547)
エタン:	57(418)	69(506)	68(499)

(換算係数¢/ガロン→\$/mt: プロパン 5.213, ブタン 4.520, エタン 7.338)

【契約価格 FOB、\$/トン】

	プロパン			ブタン		
	3月	4月	5月	3月	4月	5月
サウジアラビア(CP)	530	435	470	530	425	470
北海(BPAP)	495	478	498	490	465	462.5
アルジェリア	497	455	488	505	455	470

【月平均スポット価格 CFR、\$/トン】

	プロパン			ブタン		
	3月	4月	5月	3月	4月	5月
日本	491	493	503	478	490	502
ヨーロッパ(北西部)	506	514	518	473	495	500
米国(ガルフ)	475	523	535	477	511	526
中国(南部)	486	488	497	473	485	496

④ 海外・日本のLPG関連イベント(会議・展示会)

イベント名	場所	日付	主催者
Purvin & Gertz Inc. アジア LPG 国際セミナー	Singapore	2006 年 7 月 10-13 日	Purvin & Gertz Inc.
WLPGA(世界 LP ガス会議) >C(世界技術会議)(共催)	Chicago(U.S.A.)	2006 年 10 月 17-20 日	WLPGA & PERC (世界 LP ガス協会) & 米国 プロパン普及協会
Purvin & Gertz Inc. Latin America LPG Seminar	Panama City, ,Panama	2006 年 11 月 6-9 日	Purvin & Gertz Inc.
LPG 国際セミナー2007	東京	2007 年 2 月 22-23 日 (予定)	エルピーガス振興センター
中国LPGセミナー	中国	2007 年 2 月末-3 月初め頃	広東油気商会
Purvin & Gertz Inc. U.S.LPG Seminar	Houston	2007 年 3 月中旬頃	Purvin & Gertz Inc.

財団法人 エルピーガス振興センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目 19 番 5 号 虎ノ門一丁目森ビル



(注：尚 2006 年 4 月号から、郵送は都合により取りやめ、弊振興センターのHPへの掲載のみとなりましたこと、ご了承願います。)